

ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース No.212

発行日 令和7年8月29日

発行責任者 中山 裕子

会員数 1,635名

事務局

公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局

新潟市中央区南笹口1丁目1番38号

コープオリンピア笹口303号

電話 025-250-7660

FAX 025-250-7661



地域のニーズに応じたシステムの構築に向けて

公益社団法人 新潟県理学療法士会

会長 中山 裕子

会員の皆様におかれましては、平素より本会の活動にご理解ご協力を賜り深く御礼申し上げます。

この度、新潟県理学療法士会会長に就任いたしました中山裕子と申します。会員の皆様、関連団体の皆様、そして地域社会の皆様の信頼を頂戴し、この職務に邁進する覚悟でおりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度、士会の組織を一部見直し、従来の事務局、学術局、社会職能局に地域ブロック局を追加し4局とし、各局に担当の副会長を任命いたしました。地域ブロック局にはブロック事業部を配置、7つのブロックを取りまとめ、事業を推進してまいります。他には、総務部に厚生部を統合、保険部を診療報酬介護報酬委員会に変更、政治活動推進委員会を廃止し渉外部へ移管をいたします。

この4局体制への見直しの背景には、地域のニーズに応じた体制を構築するため、また、これまでも見据えてまいりました市町村理学療法士会設立のための組織作りの強化があります。各地域もしくは市町村で異なる医療・介護需要に応じた人材の育成、多職種連携、地域資源を最適に活用するためのプラットフォームの構築など、取り組んでいかなければならない事項が山積しています。目前の社会にはさまざまな課題があり、その解決にはその地域社会独自の手段、資源で立ち向かわなければなりません。われわれ理学療法士はその専門性を活かし、より地域密着、かつ身近な専門職として地域に貢献してゆく姿勢が求められています。士会では、ブロックを通じ地域課題とニーズの特定も進めてまいります。この取り組みは、地域における理学療法サービスの提供の充実だけでなく、未来に向けた新しい価値を創出する挑戦でもあります。

本会は、今後も県民の保健・医療・福祉の発展と充実を使命とし、多様な事業を進めてまいります。会員の皆様におかれましては、地域貢献活動への参加、多職種連携の推進、会員間の連携と学び合い等、積極的なご協力が不可欠です。皆様一人ひとりのお力が、必ずや本会を強く豊かな団体へと成長させます。引き続きより一層の会員の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

目次

地域のニーズに応じたシステムの構築に向けて… 1
リレーエッセイ…………… 2
職場紹介…………… 3
学術局生涯学習部だより…………… 4
2023年度 定時総会議事録…………… 10
2024年度 第1回拡大理事会議事録…………… 11
2024年度 第2回理事会議事録…………… 13

2024年度 第3回理事会議事録…………… 14
2024年度 第4回拡大理事会議事録…………… 15
2024年度 第5回拡大理事会議事録…………… 17
2024年度 第6回理事会議事録…………… 19
2024年度 定時総会議事録…………… 21
事務局ニュース…………… 23
結婚お祝い制度のお知らせ…………… 24
編集後記…………… 24

リレーエッセイ 1

「私の大好きな音楽」

済生会新潟県央基幹病院 リハビリテーション科 小林 弘 人

私は音楽が好きです。音楽は、いつでも私の気持ちに寄り添ってくれる存在だからです。嬉しいときには自然と明るくてノリのいい曲を選び、元気が出ないときには静かで落ち着いた曲を聴きます。気分によって聴く音楽を変えることで、心が少し軽くなったり、自分の気持ちを整理できたりします。イヤホンをつけて音楽を流せば、目の前の景色が変わるわけではないのに、自分だけの世界に入り込んだような気持ちになります。その時間は、まるで映画の主人公になったような、特別な感覚です。

そして私は、歌詞を見ながら音楽を聴くのも好きです。歌詞にどんな思いが込められているのかを考えながら聴くと、その曲がもっと深く心に響くのです。音楽は、ただの音の集まりではなく、言葉とメロディが合わさってできた“もうひとつの言葉”のように感じます。私にとって音楽は、日々の生活をちょっとだけ楽しくしてくれる、大切にかけがえのない存在です。これからもいろいろな曲に出会って、自分の世界をもっと広げていきたいです。

次回は、若林拓実さんです。



リレーエッセイ 2

「私の大好きなバレーボール」

ながおか生協診療所 理学療法士 勝 沼 卓 泉

私は高校からバレーボールを始め、今年で10年目になりました。現在は社会人チームに所属しており、週4～5日の頻度で練習をしています。

高校の時は部員が少なく経験も浅かったため、他校の同級生や先輩後輩との繋がりが少なかったですが、今では高校時代は他校でプレーをしていた友人が今では同じチームでプレーしていることがとても嬉しく思います。また、先輩や後輩と練習以外にも飲み会や食事に行くことがあり、関わる時間が多く生活がとても充実しています。



最近の思い出は埼玉県で男女混合の大会に出場した事です。大会は3位と優勝する事が出来ませんでした。年齢関係なくチームのみんなが楽しくプレーができました。また大会前に、みんなで川越市に食べ歩きしながら観光したことも印象に残っています。これからも練習を継続して行き、結果が出せるようにチームみんなで楽しみながら頑張っていきたいです。

次回は、医療法人魚野会ほんだ病院の荒井亨介さんです。

職場紹介

佐渡市立両津病院

当院は、2025年5月に佐渡両津地区の高台へ新築移転しました。病床数は60床（一般病床18床・地域包括ケア病床42床）で、内科・小児科・整形外科・外科・婦人科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・矯正歯科の8診療科を有し、巡回診療や訪問診療を通じて地域に根ざした医療を提供しています。

リハビリテーション科は理学療法士2名・作業療法士1名の3名体制で、主に内科・整形外科の外来および入院患者を対象にリハビリを実施しています。2024年度からは訪問リハビリも開始しました。地域包括ケア病床では、高齢者の在宅復帰に向けて医師・看護師・医療ソーシャルワーカー（MSW）などと連携しながら支援を行っています。

また、当院では毎年理学療法士の学生実習を受け入れています。佐渡島内外を問わず多くの学生が実習に訪れます。

病院2階に位置するリハビリ室は明るく開放的な空間となっており、大きな窓からは両津湾を望むことができます。フェリーやジェットフォイルが行き交う風景も楽しめ、患者さんにとってもスタッフにとっても心地よい環境です。

小規模な病院ならではの温かくアットホームな雰囲気の中で、職種間の連携を大切にしながら地域医療への貢献に努めています。



学術局生涯学習部だより

学術局長・生涯学習部部長 田 中 健
生涯学習部副部長 野 嶋 素 子

会員の皆様には平素より当士会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
新卒・新入職員の日本理学療法士協会・新潟県理学療法士会への入会促進にご協力をお願い致します。

重要！ 2025年度研修会費免除のお知らせ

2025年度公益社団法人新潟県理学療法士会第1回理事会において、当会学術局主催による研修会の参加費を無料にすることが決定しました。新潟県理学療法士会会員の皆様につきましては、本年度の研修会は無料（ただし、理学療法士講習会、第3回新潟県リハビリテーション専門職学術大会は除く）で参加いただけます。奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。（詳細は各研修会の案内をご確認ください）

重要！ 登録理学療法士の更新について

登録理学療法士の取得が2022.4.1の方（新生涯学習制度が開始時に取得された方）は、有効期間が2027.3.31まで（更新点数取得期限 2026.12.31）です。更新点数取得期限までに、50点以上取得し、更新時研修（eラーニング）を受講する必要があります。登録理学療法士取得は、ご自分のため、所属施設のために必要な資格となっています。積極的に履修して取得できるように進めていただければと思います。

【生涯学習履歴の確認方法】

日本理学療法士協会ホームページ → マイページ → 生涯学習管理 → 履修状況確認
→ 登録理学療法士（更新） → 履修状況確認 → 取得ポイント数が50ポイント以下の方は更新時研修（eラーニング）を受講できないため、登録理学療法士の更新ができません。2026年12月31日までに、★登録理学療法士更新ポイントの取得例を確認して50ポイント取得しましょう。

※2025年9月～ 同一カリキュラムコードにおいて、高いポイント数への上書きが可能となります。研修会を受講する際に、研修会のカリキュラムコードと自分のカリキュラムコードの点数を確認することで、更に効率的にポイント取得が可能です。

★ 登録理学療法士更新ポイントの取得例

県士会主催、県内ブロック主催の研修会への参加（1時間1点）

県学会への参加（2日間開催ですと、10～15点程度は取得可能）

JPTA NEWS（登録理学療法士 更新点数）偶数月に発刊1点

全国の士会の研修会、学会、協会eラーニングでも更新点数は取得できます。

※ 2024年度の新潟県士会生涯学習部主催、県内ブロック主催、各部局主催の研修会や県学会に全て参加すると、55点取得可能でした。

※ 研修会によってはWEBでの参加が可能な場合もありますので、対面参加が難しい方はご利用ください。

※ 2025年度県士会主催研修会および県学会（2025年度は第3回新潟県リハビリテーション専門職学術大会）での取得可能ポイントについては、県士会ホームページおよび広報部からの定期配信をご確認ください。

重要！ 前期研修・後期研修履修中の方へ

【生涯学習履歴の確認方法】

日本理学療法士協会ホームページ → マイページ → 生涯学習管理 → 履修状況確認
→ 前期研修・後期研修 → 履修状況確認 → 前期研修・後期研修で必要な履修項目を確認してください。

※2025年9月～ 同一カリキュラムコードにおいて、高いポイント数への上書きが可能となります。研修会を受講する際に、研修会のカリキュラムコードと自分のカリキュラムコードの点数を確認することで、更に効率的にポイント取得が可能です。

【eラーニングの申込方法】

生涯学習管理 → セミナー検索・申込 → 前期研修・後期研修 → 〈個別申込〉〈セット申込〉
〈個別申込〉より〈セット申込〉の方が、料金が少ない場合もあります。申込時にご確認ください。

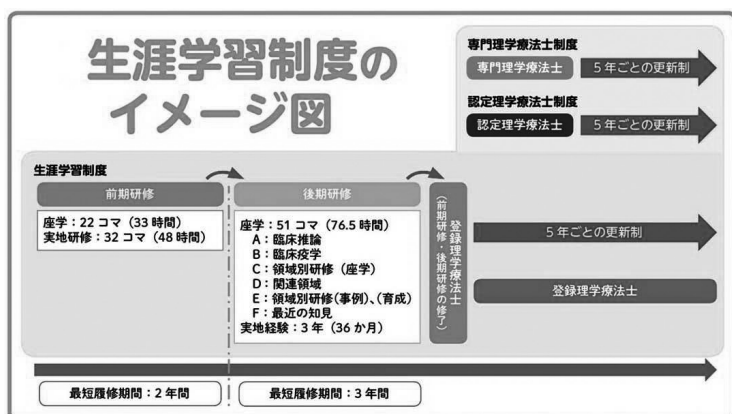
【前期研修 実地研修が未修了の方】

- ① マイページ→履修状況確認→前期研修→D実地研修→詳細→受講申請する
- ② 所属施設の責任者のマイページ→メニュー→登録内容の変更・確認→実地研修対象者一覧→担当者（登録理学療法士）を所属施設の責任者が割り振る
- ③ その担当者（登録理学療法士）のマイページ→登録内容の変更・確認→実地研修から履修登録する

★ 生涯学習プログラムで不明な点がございましたら県土会事務局までお問い合わせください。

※ 会員番号とパスワードをお忘れの方は、【日本理学療法士協会ホームページ】→【FAQ・お問い合わせ】からお問い合わせください。

■ 生涯学習制度について



生涯学習制度の3つのポイント

1. 日本理学療法士協会（新潟県士会）へ入会した理学療法士は、まず「前期研修」を履修します。その次に「後期研修」を履修することで「登録理学療法士」となります。
2. 「登録理学療法士」となった本会会員は、5年ごとの更新を目安に自己研鑽を続けます。
3. 登録理学療法士を基盤とし、より高い専門性を兼ね備える「認定理学療法士」、「専門理学療法士」制度を構築します。

詳しくは、協会ホームページをご確認ください >>>

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/>



■ 第3回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 開催決定！

会 期：2025年12月20日（土）～21日（日）

会 場：新潟朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

テ ー マ：「リハビリ3職種が協働が生み出す化学反応 ―予防・増進・支援―」

大 会 長：佐藤 卓也（一般社団法人新潟県言語聴覚士会会長）

準備委員長：堂井 真理（一般社団法人新潟県言語聴覚士会副会長）

理学療法士会準備委員：岡邨直人（新潟リハビリテーション病院）、内藤 翼（新潟リハビリテーション病院）、松田孝史（猫山宮尾病院）、防 健太（厚生連新潟医療センター）、谷口 憲央（総合リハビリテーションセンターみどり病院）

主な内容：

大会特別講演	リハビリテーションの未来を考える～未来に向かってリハ専門職はもっと輝く～
大会記念シンポジウム	県民の健康延伸、介護予防に向けたリハビリテーション～通いの場マニュアル改訂版を通して～
共通セミナー	① 嚥下リハは、もっとチームで面白くなる～PT・OT・STで挑む嚥下アプローチ～ ② 現場で差がつく！医療と介護をつなぐ“リハ連携のカタチ” ③ 災害支援～誰でもできる身近な支援～ ④ 特別支援教育に関する3士会合同シンポジウム
理学療法士会セミナー	① スクールトレーナー制度 ② リハビリテーションは多疾患・重複障害時代にどう立ち向かうのか？ ③ 脳卒中片麻痺患者の活動量 ④ 整形外科的手術後の関節可動域訓練 ⑤ 新人セミナー～これだけは聞いておきたい新人時代の心得～
就業支援部セミナー	今後役に立つリハビリ職としての「管理・運営」の考え方

演題募集要項

1. 募集期間：2025年7月1日（火）～2025年10月31日（金）

2. 発表形式：口述発表（PCプレゼンテーション）のみ

詳細、演題登録は、新潟県理学療法士会ホームページにてご確認ください

■ 第30回新潟県理学療法学術大会 準備委員会始動！

会 期：2026年（令和8年度）開催予定

会 場：新潟市内 予定

大 会 長：平林 弦大（看護リハビリ新潟保健医療専門学校）

準備委員長：長谷川 諒（看護リハビリ新潟保健医療専門学校）

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

■ 2025年度新潟県理学療法士会主催研修会 予定

	研 修 会	テーマ／講師	日 程	会 場
10月	理学療法士講習会	高齢者の社会参加と就労支援 ～職業性腰痛予防と転倒予防～	調整中	晴陵リハビリテーション学院・Web ハイブリッド開催 (予定)
10月	領域別研修 (代謝)	血液透析患者のための理学療法：安全で効果 的な運動介入の実際	10月29日	Web 開催
12月	領域別研修 (呼吸)	「データを臨床に活かす！呼吸理学療法評価 の基本と実践」	12月17日	Web 開催
2026年 1 月	領域別研修 (呼吸)	「やりすぎ？足りない？迷わない呼吸リハの 負荷量設定」	1 月24日	Web 開催
2 月	領域別研修 (代謝)	糖尿病を既往に有する症例に対する理学療法 のポイント	2 月 2 日	Web 開催

2025年度臨床実習指導者講習会

	主 催	日 程
臨床実習指導者講習会	新潟医療福祉大学	8 月28～29日
	看護リハビリ新潟保健医療専門学校	10月25～26日
	晴陵リハビリテーション学院	11月 8～ 9 日
	新潟リハビリテーション大学	調整中

県土会主催以外

2025年11月15～16日	第44回関東甲信越ブロック 理学療法士学会	アピオ甲府タワー館 (山梨県)	大会長 磯野 賢
----------------	--------------------------	--------------------	-------------



有限会社 長谷川義肢製作所

〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電 話 (025) 223-3630
FAX (025) 222-2750

各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修

(株) G・T・B (オーエックス新越)

〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2-28-27
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710
<http://www.gtb-niigata.jp>

■ 感染予防・感染拡大防止への対応について

当士会主催の研修会実施に際して、感染症予防および感染拡大防止の対策として以下のように対応していきます。

<当士会の対策>

研修会に関わるスタッフは、日常における体調管理を徹底し、検温、手洗い、うがい、マスク着用等の感染予防を励行した上で対応をいたします。

<参加者へのお願い>

- 受付時に体温計測は実施しません。発熱、咳などの症状がある場合は、参加を控えていただきますようお願いいたします
- 参加時のマスク着用は各自の判断でお願いいたします
- 会場内には消毒液を設置しておりますのでご利用ください
- 受講中に体調の変化が認められた場合は、無理をせずに早めにスタッフへお申し出ください

■ 県士会主催WEB研修会への参加方法について（Zoomシステム利用の場合）

- パソコンもしくはスマートフォンに、Zoomのアプリをインストール（無料）し、登録を済ませてください
 - Zoomの使用につきましては、各個人での責任でお願いいたします。接続中は多くの通信量（およそ90分で0.5GB）が必要です。Wi-Fi環境をご確認の上ご利用ください。研修会にかかる通信料金については、県士会は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください
 - お申し込み後、申し込み時のメールアドレスへ参加に必要なURL、ID、パスコードをお知らせします
研修会によってはZoomミーティングの事前登録をお願いする場合がございます
 - 研修会開催日3日前になっても参加に必要なURL、ID、パスコードが届かない場合は、各研修会の問い合わせ先へご連絡下さい
 - 研修会によってはZoomミーティングへの入室方法が異なる場合がございます。各研修会案内をご確認ください
 - 研修会時に出席確認を行う場合があります。県士会主催の研修会へ参加の際は、名前を「**会員番号_氏名（フルネーム）**」でご登録ください
 - Zoom画面の録画や録音、撮影は一切行わないようにお願いします
 - 不正行為が確認された場合は、受講を認めずポイント付与にならない場合があります
- ※メールアドレスの入力不備により参加できない事案が多く発生しております。登録の際はご注意ください

☆研修会ポイント認定について

遅刻や早退はポイント認定にならない場合がありますのでご注意ください。

参加確認として、協会会員アプリのQRコードを使用する場合があります。協会会員アプリのインストールとログインできるようにご準備ください。

☆研修会申込み後のキャンセルについて

ご注意ください！ 研修会申込み後のキャンセルについては返金できません。

原則として参加承認後のキャンセルに伴う返金は出来ません。また、参加費の支払いをせずに欠席された場合でもご入金頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申し込みに際しては、よく検討した上でお申し込みくださいますようお願い致します。また、やむを

得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。ご理解とご協力をお願いいたします。

キャンセル専用アドレス：pt.gakujutu@gmail.com

※研修会が天候等の事情でやむを得ず中止・延期となる場合は、メールにてご連絡をいたします。協会に登録してある連絡先メールアドレスに送信いたしますので、メールアドレスの登録及び受信可能なアドレスであることを確認してください。また、県士会ホームページに情報掲載を行いますので、必ずご確認ください。

○生涯学習制度関連のお問い合わせ

桑名病院 田中 健

E-mail：takeshikenpt@gmail.com

○学術誌関連のお問い合わせ

新潟医療福祉大学 犬飼康人

E-mail：inukai@nuhw.ac.jp

○学術局全体のお問い合わせ

桑名病院 田中 健

E-mail：takeshikenpt@gmail.com

■ 令和7年度 第2回新潟県リハビリテーション専門職協議会研修会のご案内

新潟県リハビリテーション専門職協議会は、新潟県介護予防推進リハビリテーション指導者総合育成事業の委託を受け、研修会を開催しております。

昨年度より、当協議会では介護予防ケアマネジメント支援における同行訪問指導実践者の育成を目的に、研修会を開催しております。基礎研修1～3をすべて受講することで、同行訪問に必要な知識と技術を学べる研修カリキュラムとなっております。

第2回となる本研修会は、私たち専門職が高齢者の自立支援に向けて、自立支援に資する介護予防マネジメント支援、同行訪問支援実践演習について学ぶことを目的とした研修会となります。

臨床業務にも役立てることができるよう、鋭意準備中です。皆様のご参加をお待ちしております。

<研修会概要>

開催日程：2025年9月28日（日）

会場：晴陵リハビリテーション学院

テーマ：「自立支援に資する介護予防マネジメント支援」「同行訪問支援実践演習」

講師：村山拓也（新潟リハビリテーション病院）、高頭美恵子（あがの市民病院）

定員：60名

参加費：無料

実行委員：大野智也（押木内科神経内科医院）、長島裕子（新潟リハビリテーション大学）、大和隆紀（LIFE CREATE）

平素より、当会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、広報誌にて総会や理事会の議事録が掲載されていない状態が続いておりました。
つきましては、本号にて、これまで未掲載でありました議事録をまとめて掲載させていただきます。
会員の皆様にご報告が遅れましたこと、お詫び申し上げます。



2023年度 公益社団法人 新潟県理学療法士会 定時総会議事録

開催場所 看護リハビリ新潟医療専門学校
開催日時 2023年6月25日（日） 12：10～13：35
総社員数 1,606名
出席した社員数 914名
内訳 本人出席 115名
委任状出席 799名

議長団選任の経過

定刻に至り司会者が開会を宣し、本日の定時総会は定款第19条に定める定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長および副議長の選任方法を諮ったところ満場一致をもって、それぞれ長谷川諒氏、田崎真美子氏が選任された。議長は、本会の書記および議事録署名人を誰にするのかにつき議場にこれを諮ったところ議長指名としたので議長は書記に近亮氏、村山智幸氏、議事録署名人を相波岳氏、高橋勇氏を指名し、満場これを承諾した。その後議案の審議に入った。

議事の経過要領及び議案決議の結果

第1号議案 2022年度総括事業報告・決算・監査報告に承認を求める件について

会長佐藤氏より本件に関わる説明がなされ、副会長事務局長郷氏、副会長学術局長高鳥氏、副会長夜会局長中山氏、より2022年度総括事業報告がなされ、その後財務部長小林氏より2022年度決算報告、監事の堀川氏より監査報告の説明がなされた。

議長は議場にこれを諮った処、西新潟中央病院山田氏より2点質問があり、会長佐藤氏、副会長中山氏が回答した。

質問1 士会の新規入会者数が伸び悩み、若者たちが退会していく現状についての考えと対策、
会員一人ひとりが協力できる点を上げてほしい。

質問2 将来構想検討委員会はどのような会議か

お聞きしたい。

回答1 協会もこの課題を認識し協会や県士会の活動がわかりやすく伝えるアニメーション動画を作成した。県士会としては職場管理者からの促しとブロック支部のネットワークを使って促して行く。退会者を減らすためのお知恵をいただきたい。

回答2 会長、副会長の4名で構成され、組織の見直しや委員会の諸問題に対しての検討を月一回開催している。

質疑応答の後、議場に諮り満場一致の賛成をもって議決された。

第2号議案 役員選挙結果に承認を求める件及び補充理事・監事に承認を求める件について

議長は2023年6月25日をもって理事、監事の全員が任期満了、退任する事になるので、その改選の件を付議したところ選挙管理委員会より理事佐藤成登志氏、中山裕子氏、小川恵一氏、藤澤明彦氏、田中健氏、小島渉氏、大野智也氏、北村拓也氏、小林諭氏、郷貴大氏、長谷川恵氏、飯田晋氏、五十嵐進氏、柳保氏、高鳥真氏、犬飼康人氏、山本典子氏、田村友典氏、監事には堀川武範氏、太田智英氏の立候補があり、定款細則5-⑫により無投票当選の報告がなされた。また、定数に満たない理事について理事会は定款細則5-⑥により、推薦補充し理事には、立石学氏、檜出敬介氏、を指名した。なお、退任する理事は上路拓美氏、棚橋泉氏、深川新市氏、松林義人氏である。議長が議場に諮ったところ満場異議無く可決し下記のとおり決定した。

理事 佐藤成登志
理事 郷 貴大
理事 高鳥 真
理事 中山 裕子
理事 飯田 晋
理事 五十嵐 進
理事 犬飼 康人
理事 大野 智也
理事 小川 恵一

理事 樫出 敬介
理事 北村 拓也
理事 小島 渉
理事 小林 諭
理事 立石 学
理事 田中 健
理事 田村 友典
理事 長谷川 恵
理事 藤澤 明彦
理事 柳 保
理事 山本 典子
監事 太田 智英
監事 堀川 武範

尚、被選任者は全員その就任を承諾した。

その後臨時理事会が招集され、会長に佐藤成登志氏、副会長に郷貴大氏、高鳥真氏、中山裕子氏が選定されたことが報告された。

第3号議案 その他

審議事項提案なし

報告事項

2023年度事業総括計画・予算について会長佐藤氏、副会長中山氏より本件に関わる説明がなされ、財務部長小林氏より予算について説明がなされた。

議長は議場にこれを諮った処、西新潟中央病院山田氏より2点質問があり、副会長中山氏、会長佐藤氏が回答した。

質問1 協会は政治参加を進めているが、県士会
は提案できる独自の政策は持ち合わせていない
ように感じる。独自の政策課題の検討が必要だ
と思うが、いかがか。

質問2 過去に国際部の新設を目標に掲げたが実

現に至らず、今年度は記載も消えた。取り下げ
た理由についてお聞きしたい。

回答1 コロナ禍で不定期になっているが、県議
会議員とPT・OT・ST各士会の会長とで勉強
会を行っている。そこで我々の現在の勤務や活
動状況について伝え、また今後の活動拡大につ
いて具体的をお願いしている。地域住民がいか
に健康に過ごせるかというところを重点的に要
望している。

回答2 当初国際部については、海外と接点を持
ち知見を持ってくる際に橋渡しする役割や環境
づくりが出来ないかと考えた。特に言葉の問題
について議論を進める必要があると考えていた
が、現場で活躍されている方々からは、言葉に
関してはある程度日本語や英語での対応が出来
ており、それほど困っていないという意見がある
ことから、我々の予算を当てていく必要がある
かはもう少し様子を見ていきたいと考えている。

以上をもって2023年度定時総会の議案全部の審議
を終了したので、議長は閉会を宣言し13時35分散会
した。

上記の決議を明確にするため、議事録署名人にお
いて次に記名押印する。

2023年6月25日

公益社団法人 新潟県理学療法士会
2023年度定時総会において

議長	長谷川 諒
議事録署名人	相波 岳
	高橋 勇



2024年度 公益社団法人 新潟県理学療法士会 第1回理事会（拡大）議事録

開催場所 公益社団法人 新潟県理学療法士会事務局
(Web 会議)

開催日時 2024年4月20日（土） 9:00～12:30

理事数 現在の理事数20名 出席理事数19名

出席者 佐藤成登志、中山裕子、高鳥真、郷貴大、
藤澤明彦、樫出敬介、小林諭、田村友典、
北村拓也、田中健、犬飼康人、大野智也、
小島渉、長谷川恵、柳保、小川恵一、
飯田晋、五十嵐進、山本典子

欠席者 立石学

監事数 現在の監事数2名 出席監事数2名

出席者 太田智英 堀川武範

相談役 深川新市

ブロック長 荻井夏江、諏訪和彦、松本香好美、
高野義隆、本間宏彰、若菜翔哉

委員長 小野塚智紀、石井康朗

会長挨拶 佐藤成登志

2023年度事業の総括をしっかりと行い、2024年度に
つなげて欲しい。

議 題

1 報告

① 2023年度決算報告

小林財務部長から2023年度決算報告資料を示しながら貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財産目録、収支計算書について説明がなされた。公益社団法人としての財務三基準についてすべて満たしていることが報告された。承認された。

〈意見〉

会長：会員数の増加人数は2022年度が60名、2023年度は45名であり減少傾向が見られ、会費収入を確保する点から今後分析が必要である。

② 2023年度監査報告

堀川監事から2023年度監査報告がなされた。

日当の支払いで定款細則に定められていないものがあると指摘あり。今後、定款細則を見直すこととなった。

承認された。

③ 2023年度総括事業報告

資料を則り報告され承認された。

2 協議

1) 今後の事業について

① 上越市地域リハビリテーション事業への会員派遣調整について

今年度は係る事務経費は県士会より負担し、次年度から上越市に負担していただけるよう市担当者調整中である。承認された。

② 労働者就労支援委員会

現在16名の会員が登録され活動している。登録を希望する会員を募集している。承認された。

柳理事質問：今後県士会の収益事業にしていく見通しについて

中山理事回答：現在、明確な事業計画を示すまでには至っていない。今後外部資金を獲得する事業に育てる道筋を示したい。

③ スポーツ活動支援部

協会認定スクールトレーナー養成講習会への県士会推薦受講者決定済み。個人での参加希望者についても本人と協議の上、係る経費を県士会で負担することで承認された。

④ 渉外部

田中まさし後援会組織図と今後の後援会の活動内容・日程が示され承認された。

⑤ 生涯学習部

新入会員の県士会生涯学習部主催研修会参加費無料化が提案され、入会后3年間は研修会参加費を無料とすることが承認された（2022年度以降の入会者

から適用）。

⑥ 学会準備委員会

学会プログラムが示され承認された。

⑦ 2024年度定時総会について

2024年6月9日（日）、看護リハビリ新潟保健医療専門学校にて開催予定。当日の日程について示され承認された。

今年度から総会資料はすべて電子化して県士会ホームページに掲載することとする。紙媒体での資料送付は行わない。会員へは総会の案内・委任状・総会資料の県士会ホームページ掲載の案内を記載した文書を郵送とメルマガ、FAXで周知することが承認された。

⑧ 総会終了後にブロック長会議を開催することが承認された。

2) その他

① 広報誌の発行について

広報誌「ゆきわり草」の発行方法を紙媒体から完全電子化とする。

SNSによる情報発信を行う。SNSとしてLINEと契約し1ヶ月5,000円費用がかかる。承認された。

② 議事録作成アプリaileadの導入について

費用対効果を考慮し今回は導入を見合わせる。

議事録の記載内容は簡潔に結論のみを記載するように変更する。オンライン会議の内容は動画でドライブに保存することとする。承認された。

③ ブロック体制の検討

中越ブロックを2つに分けることが会長から提案され承認された。

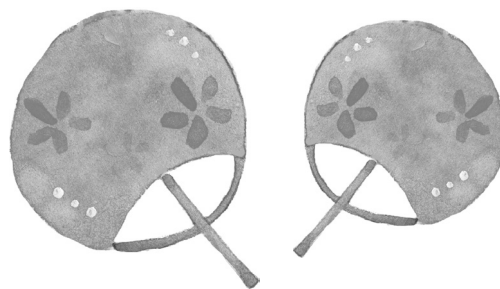
次回理事会

日時：2024年6月9日（日） 10時開始

場所：看護リハビリ新潟保健医療専門学校5階講堂

2024年4月20日

会長	佐藤成登志
監事	太田 智英
	堀川 武範
	以上



2024年度
公益社団法人 新潟県理学療法士会
第2回理事会議事録

日 時：2024年6月9日 10:00～11:40

参 加 者：

理 事 佐藤成登志、中山裕子、高鳥真、郷貴大、
小林諭、田村友典、大野智也、立石学、
五十嵐進、北村拓也、田中健、小島渉、
長谷川恵、柳保、小川恵一、飯田晋、
山本典子、藤澤明彦、樫出敬介

監 事 太田智英、堀川武範

相談役 深川新市

欠席者：

理 事 犬飼康人

議 事

1. 会長挨拶
2. オブザーバー紹介
3. 協議事項
4. 報告事項
5. その他

1 会長挨拶

2 オブザーバー紹介

金子巧氏（新潟リハビリテーション大学）に総会議長を依頼し、理事会にオブザーバーとして参加いただく。

3 協議事項

1) 部局より

〈広報部〉

- 1 ゆきわり草の電子化について、PDFで送ること、承認された。
- 2 情報の周知方法に関して、協会アプリを入れない会員もいるため、協会アプリでの連絡方法と協会が取得している協会のメールアドレスに県士会のホームページ内のURLを添付して送る方法の2つを併用することについて協議した。試行し、再度検討することになった。

〈財務部〉

協力部員を1名募集しているが、見つからない。業務を考慮すると、新潟市内で探している。

〈学術局〉

助成研究2件に関して、学術部としては問題なく、理事会にて採択の承認がされた。

〈財務部〉

現在、会員の宿泊費に関して、県内8,000円、県外9,000円となっているが、物価の高騰とともに

に宿泊費が高くなっている。特に東京、大阪では、宿泊費が高くなっているため、宿泊費の増額の検討について意見あり。県内は、10,000円、県外は東京、大阪で15,000円、その他の県で12,000円に決定した。

4 報告事項

1) 部局より

〈学術局〉

前回の理事会で決定したが、新入会員の3年間は、研修会の参加費は無料にすることを総会にて報告する。

〈就労支援部〉

部員会議にて、養成校の学生に対しての活動をするのはどうかとの意見あり。例として、総合臨床実習の回数が減ってきているため、実習先の領域と違うなどの理由で就職後のイメージができず、離職につながっているのではないかと意見があった。理事会では、本会が会員のための会のため学生は対象外ではないかという意見と、学生も就職後に会員となるため、学生への活動も必要ではないか等の意見があった。理事会では、賛否両論であったことを部内で共有することになった。

〈厚生部〉

10月26日（土）の第30回新潟県理学療法学会大会1日目の終了後の新人歓迎会・懇親会を予定しており、会場も絞り込みをしていることを報告した。

2) 佐藤会長

ブロック事業に関して、ブロック数を6ブロックから7ブロックに増やし、中越ブロックを中越北ブロック、中越南ブロックに分けることを報告した。

〈学会準備委員会〉

第30回新潟県理学療法学会大会のプログラム、日程が決定した。就業支援部、渉外部のセミナーの枠を入れてある。市民公開講座は未決定。開会式の来賓の予定者を決定した事を報告した。

3) 中山副会長

日本理学療法士協会の第53回定時総会の報告があった。1号議案から第8号議案まで提出されたが、全ての議案が可決された。また、議論時間が多かった内容として会員数の減少があった。2023年度は初めて全会員数が減少になった。国会試験合格者の半数が入会していない、休会者の復会が少なかった。診療報酬に関して、総合理学療法士を登録理学療法士の上に位置付ける案が検討されている。

4) 総会について

タイムスケジュール及び発表者の確認をした。

委任状860名（会員数1,635名）のため総会は成立

となった。

執行部案として下記の会員を推薦する。

議 長 金子 巧 氏
(新潟リハビリテーション大学)

副議長 清野健二 氏
(新潟大学医歯学総合病院)

書 記 大和隆紀 氏 (ライフクリエイト)

書 記 岡村隆利 氏 (WELL Being)

議事録署名人 浜辺政晴 氏
(総合リハビリテーションセン
ターみどり病院)

議事録署名人 早津敏彦 氏
(新潟県立中央病院)

5 その他

新会員が増えていないため、何かしら対策を立てる必要がある。また、休会者が327名であった。佐藤会長より、総務部、広報部、ブロック運営部長、3役による委員会を立ち上げて対策を検討していくとのこと。

2024年 6 月19日

公益社団法人新潟県理学療法士会

会長 佐藤成登志
監事 太田 智英
監事 堀川 武範
以上



2024年度 公益社団法人 新潟県理学療法士会 第3回理事会議事録

日 時：2024年 9 月24日 19：00～20：30

場 所：新潟県理学療法士会事務局およびwebに
て実施

参 加 者：

理 事 佐藤成登志、中山裕子、高鳥真、郷貴大、
小林諭、田村友典、田中健、小島渉、柳
保、五十嵐進、立石学、犬飼康人、大野
智也、小川恵一、飯田晋、長谷川恵、北
村拓也、山本典子、藤澤明彦、檜出敬介

相談役 深川新市

監 事 太田智英、堀川武範

1. 会長挨拶

令和6年度は半分を終え予定通り事業が進んでいると考えている。年度後半に向け理事の方には今年度の重点項目の確認をお願いしたい。

2. 報告事項

① 各部局7月～8月事業報告

各部局から前回理事会以降の事業報告がなされた。

② 各部局より今後の活動について

3役、各部局より今後の活動予定の報告があった。

〈佐藤会長〉

- ・10月5日に関東甲信越ブロック協議会士会長会議（千葉県幕張メッセ）に参加予定となっている。
- ・10月26～27日の新潟県理学療法学会大会（アオーレ長岡）に向けて準備を行っている。

〈渉外部小川部長〉

- ・田中まさし全国後援会の新潟県組織・入会申込回収状況に関して、現状の申込状況と協力依頼の進捗状況の説明があった。飯田理事より、各施設で回収進捗状況を説明してもよいか確認あり、小川部長が承諾した。

〈スポーツ活動支援部飯田部長〉

- ・認定スクールトレーナー講習会の受講および認定者に関して説明があった。認定者より、今後の県士会での活動協力に関して、承諾を得た。今後、県士会会員向けの研修会などの検討をしていくと報告があった。

③ 入会促進委員会より

〈佐藤会長〉

- ・入会促進委員会の進捗状況に関して説明があった。委員会を7月から月1回の頻度で行っている。各ブロック長に各施設のPT数の把握、新採用のPT数の把握をお願いしている。県内各養成校に今年度、県内に就職した卒業生数、施設の把握。休会者に対しての復会の案内文の発送を行う予定であると報告があった。

④ その他

〈犬飼理事〉

- ・第60回日本理学療法学会学術研修大会に関して、第30回新潟県理学療法士学会において広報の要望があり、承諾された。また、同大会準備委員会渉外部より、各都道府県士会へ賛助金依頼が予定されていると情報があり、依頼が届き次第、検討することとなった。
- ・日本神経理学療法学会にて地方ブロック化が進んでおり、新潟県では、犬飼理事が地方ブロック会を行うこととなった事、および地方ブロック活動

の説明報告があった。

〈郷副会長〉

- ・2024年度都道府県理学療法士会事務局長会議の報告があった。
 - ・休会制度の在り方について新制度案の検討中であることの報告があった。案の内容として、休会期限終了の取り扱いを自動退会から自動復会に変更すること、休会手数料を徴収する案が出ている。
 - ・市区町村窓口の設置検討に関して、他事業との整理と地域の実情に応じた対応策の検討がされているとの報告があった。内容としては、リハ3団体、広域支援センター・地域リハセンターの窓口担当者を市区町村窓口担当者としての兼任も差し支えない方向で検討されている。
 - ・ブロック援助金について、2025年度より、廃止の方向で検討中、代案として、士会援助金の増額の方向で検討されている。
 - ・個人データの共同利用について、本協会と各都道府県理学療法士会で会員の個人データの共同利用の必要性が上がっており、会員への許諾を得るなどの点から、本土会のホームページにプライバシーポリシー等で掲載をすることで、会員からの同意は不要となるため、ホームページの修正が必要との報告があった。
 - ・60周年記念事業で厚生労働大臣表彰について、本土会から適宜必要資料を提供していく。
 - ・士会主催研修会などの参加費のキャンセル対応について、基本的にキャンセルには応じていないが、研修会などが開催中止になった場合に本協会経理課で返金対応が可能となっている。
- 報告事項は理事会にて承認された。

3. 協議事項

① 労働者就労支援委員会（中山副会長）

- ・士会独自事業の報酬について、以下の案が提案さ

れ、本理事会にて承認された。

時給

講話、講師個別対応の担当者

：5,000円 1時間経過後30分2,500円

運動機能測定検者、講師補助

：3,000円 1時間経過後30分1,500円

準備作業、事前打ち合わせ

：1,000円

資料作成

スライド新規作成 1枚 5,000円

最大 100,000円

スライド修正 1枚 3,000円

最大 100,000円

- ・株式会社バックテックからの産業理学療法に関する研修共催依頼について報告があった。

研修共催に関しては、様々な意見が出た。今後、三役で検討していく。

株式会社バックテック側のメリットは、研究会に参加した会員の個人情報をストックが得ることができることである。

本土会としてのメリットは、無料で産業理学療法の研修会を開催することができることである。

② その他

〈中山副会長〉

- ・県の介護予防アドバイザーの業務の報告があった。新潟県セルフマネジメント手帳を作成したため、各事業で使用が可能との報告があった。

2024年10月10日

公益社団法人新潟県理学療法士会

会長 佐藤成登志

監事 太田 智英

監事 堀川 武範

以上

2024年度 公益社団法人 新潟県理学療法士会 第4回理事会（拡大）議事録

開催場所 公益社団法人 新潟県理学療法士会事務局（Web会議）

開催日時 2024年12月7日（土） 13：00～16：00

理事数 現在の理事数20名 出席理事数19名

出席者 佐藤成登志 中山裕子 高鳥真 郷貴大
藤澤明彦 小林諭 田村友典 北村拓也
田中健 立石学 犬飼康人 大野智也

小島渉 長谷川恵 柳保 小川恵一

飯田晋 山本典子 五十嵐進

欠席者 梶出敬介

監事数 現在の監事数2名 出席監事数2名

出席者 太田智英 堀川武範

相談役 深川新市

ブロック長

出席者 諏訪和彦 本間宏彰

欠席者 荻井夏江 松本香好美 高野義隆
若菜翔哉

委員長 小野塚智紀 石井康朗

そ の 他 事業報告説明者

木村和樹（糖尿病対策の推進について）
根津愛実（LINE公式アカウント運用について 広報部）

会長挨拶 活発な議論をお願いしたい。

議 題

1 報告事項

① 各部局事業報告

- 1) 糖尿病対策推進の活動について木村和樹先生が報告した。
- 2) LINE公式アカウント運用について根津愛実先生が報告した。次年度から運用開始予定。
- 3) 入会促進委員会の取り組み状況について会長から説明があった。
 - ・休会中の会員への復会案内事業について承認された。
 - ・北村理事が入会促進のための見える化として、認定・専門理学療法士取得会員の所属施設をホームページに案内する事業について説明した。
意見：深川相談役）今後理学療法士として長く勤務するには認定理学療法士や専門理学療法士を取得することが重要であり、そのことを県士会としても後押しすることが必要である。
ホームページ作成について承認された。具体的な掲載方法や内容については入会促進委員会で更に検討する。
 - ・未入会者への入会促進事業について山本理事が説明した。実際に勤務しているPT数と県士会に入会しているPT数を調査し、差の大きい施設に理事が分担し入会促進の電話をする。そのためのマニュアルを作成中である。取り組みについて承認された。
- 4) その他の事業について各部局から資料に基づいて説明がなされ承認された。

② 各部局今後の活動計画について

各部局から資料に基づいて説明がなされ承認された。

2 協議事項

① 2025年度事業計画骨子について各部局から資料に基づき説明された。

佐藤会長）各部局やブロックの活動が組織として継続できるような組織作りをお願いしたい。

中山副会長）新潟県介護予防アドバイザーを行っているが、更に2年継続することになった。

高鳥副会長）資料の通り

郷副会長）資料の通り

藤澤総務部長）資料の通り

小林財務部長）資料の通り

北村広報部長）新規事業としてホームページ掲載マップの作成とLINEによる広報を行う

田中生涯学習部長）研修会への参加人数が減少傾向であり、課題と認識している。土日勤務の会員が増えてきたことが影響していると考え、平日の夜に1～2時間の研修会の企画を検討中である。

大野地域包括ケア推進部長）学会でのブース出展を継続する。

長谷川就労支援部長）資料記載に加え復職希望者研修を予定している。

柳公益事業部長）次年度の学会はリハ専門職種学会であり、PT県士会単独の学会時の市民公開講座は行わない。今後ブロックごとの市民公開講座を検討していく。

柳保険部長）資料の通り

小川渉外部長）資料の通り

飯田スポーツ活動支援部長）資料の通り

質問：石井委員長）スクールトレーナー研修について次年度の計画はどのような見込みか。

回答：飯田部長）協会主催の研修会であり確実ではないが、来年度以降もおこなわれると思われる。

質問：佐藤会長）今年度県士会の推薦でスクールトレーナー養成研修に参加してもらったが、今後県士会として一般会員向けの研修会開催について計画はあるか。

回答：飯田部長）何らかの形で一般会員へ報告する機会を設ける。

提案：高鳥副会長）学術大会での報告する方法もある。

提案：深川相談役）県士会推薦で研修会に参加する場合には当事者に研修会参加後報告会での報告を事前をお願いしてはどうか。

回答：飯田部長）何らかの形で報告をしてもらう機会を設ける。

山本ブロック事業部長）会員の所属が変更になるなど、ネットワーク名簿の見直しが必要になっている。

各ブロック長）資料の通り

小野塚災害対策委員長）令和7年6月21日に新潟県と新潟県災害リハビリテーション連絡協議会との協定締結式と研修会を計画している。理事の参加をお願いしたい。

深川地域包括推進委員長）資料の通り

石井障がい児・者支援委員長）外部専門家派遣事業について特別支援学校等への無料講演会を開催し現場の教諭に直接伝える機会を設けるように企画する。

中山労働者就労支援委員長) 派遣地域に偏りがあり、対応を検討する。

質問：柳理事)「士会独自事業」のゴールはどこを定めているか。

回答：佐藤会長) 現在は種まきの時期と位置づけ進めている。

中山副会長) 県士会からの支出は無く行っている。

中山表彰委員長) 資料の通り

郷倫理委員長) 資料の通り

高鳥学会準備委員長) 資料の通り

五十嵐政治活動推進委員) 資料の通り

以上理事会にて承認された

② その他

追加協議事項なし

3 情報提供

- ・中山副会長：協会で進めている地域ケア会議推進リーダーと介護予防推進リーダーの研修制度が変更になる。

・藤澤総務部長：次回総会の開催方法について理事の意見を参考に検討してゆく。

・佐藤会長：新潟県健康づくり財団でフレイル克服研修会が開催される。

次期役員の改選について選挙管理委員会から公示されている。

次回理事会

日時：2025年1月26日（日） 9時開始

場所：公益社団法人 新潟県理学療法士会事務局
(Web会議)

2024年12月7日

会長 佐藤成登志

監事 太田 智英

堀川 武範

以上

2024年度 公益社団法人 新潟県理学療法士会 第5回理事会（拡大）議事録

開催場所 公益社団法人 新潟県理学療法士会事務局 (Web会議)

開催日時 2025年1月26日（日） 9:00～13:30

理事数 現在の理事数20名 出席理事数19名

出席者 佐藤成登志 中山裕子 高鳥真 郷貴大
藤澤明彦 樫出敬介 小林諭 田村友典
北村拓也 田中健 立石学 犬飼康人
大野智也 小島渉 柳保 飯田晋
山本典子 五十嵐進

欠席者 小川恵一 長谷川恵

監事数 現在の監事数2名 出席監事数1名

出席者 堀川武範

欠席者 太田智英

相談役 深川新市

ブロック長

出席者 荻井夏江 諏訪和彦 本間宏彰
高野義隆 松本香好美 中俣和広

欠席者 若菜翔哉

委員長

出席者 小野塚智紀

欠席者 石井康朗

I 田中まさし全国後援会幹事長および日本理学療法士連盟会長山根一人氏より挨拶

II 会長挨拶

3月まで2024年度事業をしっかりと行いたいので協力をお願いしたい。

III 議 事

1 報告事項

① 各部局事業報告

事前に配布された資料を基に各部局から説明された。

以下の追加報告があった。

会長) 3月12日に県議会議員との意見交換会が設定されている。要望を上げて欲しい。

山本理事) 今年度中越南ブロックは北ブロックと一緒に活動をしてきた。次年度事業計画については後日、南ブロックの担当会で会議を持った後、次の理事会で提示する。

中俣中越南ブロック長から挨拶があった。

田中理事) 116回研修会の日程が決定した。3月11日（火）と3月13日（木）の19時から20時30分、Webで行う。平日の夕方開催でどの程度の参加者がいるかしっかり見てゆきたい。

高鳥理事) 3月15日（土）高齢者就労支援の研修会がユニゾンプラザで開催することが決まった。

対面のみで行う。

田中理事) 以前に会員より質問があった件であるが、5年以上経験している会員が、前期研修や後期研修を受けていない場合に登録理学療法士になるには、新人と同様に5年かけて前期研修・後期研修の履修が必要である。

高鳥理事) 第3回新潟県リハビリテーション専門職学会大会の当士会の準備委員が決定した。

テーマは「リハビリ3職種の協同が生み出す化学反応」である。

会長) 入会促進委員会の事業においてブロック長の協力に対し慰労と感謝の言葉を述べた。

郷理事) 各ブロック長へのパソコン配置については業者から直接送るよう手配をしている。

また、公益法人法改正に伴い2025年4月から外部監事の設置が義務化された。当士会の対応としては次回定時総会で定款を改正し、役員改選で外部監事を選出する。

以上、報告事項はすべて承認された。

2 協議事項

① 2025年度事業計画(案)の審議

各部局から提出された2025年度事業計画資料について説明があった。

会長) 重点項目で上げた計画を着実にやってゆきたい。

総務・厚生部) 資料の通り。

財務) 公益法人法の改正で財務基準の改正があった。

さくら総合会計と相談し進めてゆく。

広報部) 資料の通り。

生涯学習部) 新生涯学習システムが少しずつ変わってきている。会員へ周知する。

学術誌部) 資料の通り。

地域包括ケアシステム推進部) 資料の通り。

就労支援部) 資料の通り。

公益事業部) 市民公開講座を中越南ブロックでの理学療法イベントにて行うことを検討中である。

保険部) 副部長に吉沢圭亮氏が決まった。

渉外部) 資料の通り。

スポーツ活動支援部) 資料の通り。

中山副会長) 肢体不自由児協会から学生向けに、障害者ボランティア活動についての講演会の講師依頼を受けている。新潟シティマラソンでの当士会の活動を受けてである。とてもいい流れであると認識している。

会長) 4月に村上市で開催される笹川流れマラソンに車いすでの参加について会員の齋藤武氏、山田規央氏が市に申し入れているとの情報を得ている。スポーツ活動支援部では把握しているか?

飯田理事) 承知している。スポーツ活動支援部として車いすの参加希望者がいた場合には、要請があ

れば協力できる体制を考えていきたい。

ブロック担当) 2025年度から中越南ブロックが中越ブロックから独立し予算を計上する。

上越ブロック) 資料の通り。

中越ブロック) 資料の通り。

下越ブロック) 資料の通り。

新潟西ブロック) 資料の通り。

新潟東ブロック) 資料の通り。副ブロック長が決定した。

佐渡ブロック) 資料の通り。

中越南ブロック) 理学療法の日に合わせてイベントを企画する。

災害対策委員会) 2月17日新潟県と災害リハ協議会との間で協定調印を取り交わす。

地域包括推進委員会) 次年度は県内30市町村中15市町村が参加する。今年度と同数。

参加するPTの名簿を作成する。

障がい児・者支援委員長) 資料の通り。

表彰委員会) 資料の通り。

倫理委員会) 資料の通り。

労働者就労支援委員会) 資料の通り。

学会準備委員会) 資料の通り。

政治活動推進委員会) 資料の通り。

入会促進委員会) 今年度と同様に定期的に会議を開催する。

② 2025年度予算(案)審議

冒頭、県士会の予算執行状況について小林財務部長、堀川監事から説明があった。

その後、以下の検討事項が提起された。

〈検討事項〉

1) 燃料費が高騰しており会員の交通費規定と現状に乖離がある。

→自家用車10キロ当たり200円(現状180円)とする。本日から適応する。

2) 一般に時給が上昇している中、会員の活動費を見直す必要がある。

→県士会の事業を担う会員の日当を1時間1,300円とする(現状では現地参加の場合が1,000円、Web会議の場合は通信費等込み1,300円)。2025年4月1日から適応する。

以上を理事会で決定した。

各部局から提出された2025年度予算(案)について、各部局から説明がなされた。

郷事務局長) 現在事務局では2名の事務員を雇用している。世間の時給が上昇している情勢下、事務員の時給を引き上げたい。

→時給を50円引き上げる。4月の給料から実施する。(理事会承認)

会長) PT・OT・ST合同ユニゾンプラザでの事務所借用について次年度は応募しない。予算計上はしない。

郷事務局長) 2025年4月から外部監事の設置が義務化による外部監事の費用を計上した。

災害対策委員会) 昨今の災害派遣ではパソコンが必須になっているため予算計上した。

財務部長) 今後の事務所の移転費のための積立など、計画的に積み立ての予算を計上する。

会長) 入会促進委員会の予算を新たに計上する。

表彰委員会) 2万円を計上する。

犬飼理事) 会員の参加のしやすさや係る経費を考えると、県学会をオンライン中心にすることを検討してはどうか。

→高鳥副会長) 学会では対面のメリットも大きいと考えている。当面は現在のハイブリットを維持したい。

小林財務部長) 今日出された意見を基に予算を調整し、次回理事会に2025年度予算(案)を提示する。

③ その他審議

1) 2025年度「認定スクールトレーナー制度」の県士会推薦者2名の選出方法について

飯田理事から表題について説明された。協議の結果、県士会ホームページにて公募し、応募者から県士会推薦者2名を決定することになった。

2) 上越市の地域リハビリテーション事業に関する事務費に関して

萩井上越ブロック長から説明がなされた。県士会では上越市に対し地域リハビリテーション事業の派遣調整業務を県士会に委託することを提案していたが、市担当者から派遣調整業務の委託費を出すことは困難と回答があった。次年度は市の担当者が中心となって派遣調整を行うことになる。上越ブロックとして協力はする。

3) 2025年度定時総会日程について

- ・2025年6月21日(土) 10時から
- ・生涯学習部研修会と別の日程で開催する。
- ・総会会場とオンラインを併用したハイブリット形式で開催する。

以上理事会にて承認された。

次回理事会

日時: 2025年3月1日(土) 10時開始

場所: 公益社団法人 新潟県理学療法士会事務局
(Web会議)

内容: 2025年度事業計画と2025年度予算の決定

2025年1月26日

会長 佐藤成登志

監事 堀川 武範

以上

2024年度 公益社団法人 新潟県理学療法士会 第6回理事会議事録

開催場所 公益社団法人 新潟県理学療法士会事務局 (Web会議)

開催日時 2025年3月1日(土) 10:00~12:30

理事数 現在の理事数20名 出席理事数18名

出席者 佐藤成登志 中山裕子 高鳥真 郷貴大
藤澤明彦 檜出敬介 小林諭 田村友典
北村拓也 田中健 犬飼康人 大野智也
長谷川恵 柳保 小川恵一 飯田晋
山本典子 五十嵐進

欠席者 立石学 小島渉

監事数 現在の監事数2名 出席監事数2名

出席者 太田智英 堀川武範

相談役 深川新市

I 田中まさし参議院議員より挨拶

II 会長挨拶

3月まで2024年度事業をしっかりと行いたいので協力をお願いしたい。

III 議 事

1 報告事項

① 各部局事業報告

事前に配布された資料を基に各部局から説明された。

以下の追加報告があった。

会長) 3月12日に県議会議員との意見交換会が設定されている。2月28日の新潟県リハビリテーション専門職協議会において各士会からの意見、要望の共有を行った。

PT士会も意見、要望をあげていく。

田中理事) PT協会生涯学習部の会議が3月5日に

予定されている。会議資料より登録PTの更新ポイントが0ポイントの登録PTが34%と多く、新潟県士会では26%と全国平均よりも低い。現状に関して、来月ぐらいにポイントの取得例を含め会員に広報していきたい。

小林理事) 現在の財務状況について、収支相償は問題ない。収支相償の基準を満たさない場合は、次年度の公益事業に充てることで対応できる。遊休財産に関しては、大幅に超えそう。3月末での状況を確認し、余剰分は積み立てとしたい。ゆうちょ銀行の口座を6口座所有している。その内、5口座が以前の法人名となっており、ゆうちょ銀行から是正するよう指導があった。今回、該当する5口座を新しく作り直した。

郷理事) 事務員の給与を上げることにに関して、さくら会計の社労士に確認をした所、問題はないとの回答であった。

高鳥理事) 新潟県リハビリテーション専門職学会準備委員会に関して、プログラムに関して検討された。各部局の協力をお願いしたい。

山本理事) 6月下旬～7月上旬に各ブロック内のネットワークの更新調査を行う。各部局で他にも調査が必要であれば、この際に行いたい。

小川理事) 田中まさし参議院議員の全国後援会入会の組織図は全ての理事が情報共有することができる。施設訪問を行っている。後援会入会者が増える様に協力をお願いしたい。

3月12日に新潟県議会議員との意見交換会を行う。3士会の要望を提言していき、新潟県政においても理学療法士の役割等を伝え、県民のリハビリテーションの向上に努めていく。

② 役員選挙結果について

会長) 選挙管理委員会から役員改選の結果が出された。補充理事について候補者の推薦を理事会に依頼があった。

③ その他 特になし

以上、報告事項はすべて承認された。

2 協議事項

① 2025年度事業計画(案)

各部局から提出された2025年度事業計画資料について説明があった。

会長) 資料の通り。

各事業部の副部長、各ブロックのブロック長補佐等、組織の編成をすすめていきたい。

総務・厚生部) 資料の通り。

財務部) 資料の通り。

来年度は電子帳簿保存法にのっとり処理ができるようにしていきたい。現状の会計システムをバージョンアップすることで電子帳簿保存していき

たい。領収書の原本が事務所への郵送不要になり、PDF化したデータを送信することで対応ができるようになる。財務部でも、自動振り分けや紙ファイルの保存が不要になり、業務の効率化につながる。バージョンアップには、月額1500円程度の費用増となる。詳細が決まり次第報告する。

広報部) 資料の通り。

ゆきわり草の掲載内容のリニューアル、LINEの本格運用、学生向け広報活動を行う。

生涯学習部) 資料の通り。

学術誌部) 資料の通り。

地域包括ケアシステム推進部) 資料の通り。

就労支援部) 資料の通り。

公益事業部) 資料の通り。

新潟福祉機器展実行委員会解散により、新潟福祉機器展の事業計画がなくなった。市民公開講座は来年度、新潟県リハビリテーション専門職学会大会になるため、時期は未定となっている。

保険部) 資料の通り。

渉外部) 資料の通り。

新潟県理学療法士連盟の組織体制を整備する。

スポーツ活動支援部) 資料の通り。

認定スクールトレーナーの活動に尽力する。

ブロック事業部) 資料の通り。

副部長が決まっていないため、人選を行う。各ブロックのブロック長の交代やブロック長補佐に関しても、決まっていないブロックがあるため、同様に人選を行う。各ブロックで特色ある活動を計画しており、そのサポートを行う。

〈上越ブロック〉資料の通り。

ブロック長の交代を予定している。ブロック内の症例検討会に力を入れていく。

〈中越北ブロック〉資料の通り。

今年度、大雪の影響で中止になった研修会を来年度行う。

〈中越南ブロック〉資料の通り。

担当者の選定、及びネットワーク構築に力を入れる。

〈下越ブロック〉資料の通り。

ブロック長の交代を予定している。

〈新潟西ブロック〉資料の通り。

ブロック長の交代を予定している。

〈新潟東ブロック〉資料の通り。

症例共有座談会などで顔が見える関係作りを強化していく。

〈佐渡ブロック〉資料の通り。

災害対策委員会) 資料の通り。

地域包括推進委員会) 資料の通り。

障がい児・者支援委員会) 資料の通り。

政治活動推進委員会) 資料の通り。
入会促進委員会) 資料の通り。
表彰委員会) 資料の通り。
倫理委員会) 資料の通り。
労働者就労支援委員会) 資料の通り。
学会準備委員会) 資料の通り。

② 2025年度予算(案) 審議

前回の理事会後に修正した県士会予算について、小林財務部長から説明があった。その後、以下の質疑応答があった。

高鳥学術局長) 積立金で災害対策基金があるが、例えば県の学会などが災害等により中止になった場合、どうなるのか?

小林財務部長) 災害対策基金の取り扱い規定の確認が必要。

高鳥学術局長) 他の団体では学会や研修会の規定の中に明記されている場合もあり、新潟県士会主催の学会、研修会などの規定の中に明記することも考えてよいのではないかと考えている。来年度以降検討をしていく。

③ その他審議

1) 新潟県理学療法士会定款の変更について

郷事務局長より公益法人法改正による外部理事、外部監事の設置義務に関して説明があった。

新潟県士会では、外部理事の選任は適用除外となるが、外部監事の選任は2025年4月1日以降にすべての役員が改選となる総会時に行われる必要がある。

協議の結果、新潟県士会では定款を変更し内部監事2名、外部監事1名を選任することになった。

総会時に、まず、定款を変更し、変更後の定款に基づき役員を選定する。

→次回の理事会で定款、細則の変更案を提出する。

中山副会長) 定款変更で副会長の人数の変更についても検討をしていただきたい。

→次回の理事会で定款、細則の変更案を提出する。

2) その他

・小林財務部長) 現状、活動時間が30分未満の場合は、活動費請求ができない。30分未満の活動が多くなっている現状をふまえ、以下の2案で協議をお願いしたい。

① 短時間の活動を合算して請求できるようにする。

② 30分未満の活動について活動費を新たに作る。

議事録(活動記録)と活動費請求書が必要である。議事録(活動記録)は日付、活動時間、活動内容、氏名が必要である。

→理事会で多くの意見が出たが、会計処理作業の煩雑化もあり、①の案で財務部が議事録や活動費請求のフォームを検討して、次回の理事会で提案する。

・堀川監事) 8時間以上の活動に対しての活動費請求についても検討が必要ではないか。

→理事会で検討し、さくら会計にも確認する。定款・細則の変更の必要性を含め、8時間以上も活動費として請求できるようにしていく。

・佐藤会長) 選挙管理委員役員選挙結果により役員の補充理事について、山本典子氏を推薦する。

以上、審議事項はすべて承認された。

次回理事会 2025年度第1回理事会(拡大)

日時: 2025年4月27日(日) 10時開始

場所: 公益社団法人 新潟県理学療法士会事務局
(Web会議)

内容: 2024年度事業報告・決算報告・監査報告承認

2025年3月1日

会長 佐藤成登志

監事 太田 智英

堀川 武範

以上

2024年度 公益社団法人 新潟県理学療法士会 定時総会議事録

開催場所 看護リハビリ新潟医療専門学校

開催日時 2023年6月25日(日) 12:15~13:20

総社員数 1,635名

出席した社員数 950名

内訳 本人出席 90名

委任状出席 860名

議長団選任の経過

定刻に至り司会者が開会を宣し、本日の定時総会は定款第19条に定める定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長および副議長の選任方法を諮ったところ満場一致をもって、それぞれ金子巧氏、清野健二氏が選任された。議長は、本会の書記および議事録署名人を誰にするのかにつき議場にこれを諮ったところ議長指名としたので議長は書記に大和隆紀氏、岡村隆利氏、議事録署名人を浜辺政晴氏、早津敏彦氏を指名し、満場これを承諾した。その後

議案の審議に入った。

議事の経過要領及び議案決議の結果

第1号議案 2023年度総括事業報告・決算・監査報告に承認を求める件について

会長佐藤氏より本件に関わる説明がなされ、副会長事務局長郷氏、副会長学術局長高鳥氏、副会長夜会局長中山氏、より2023年度総括事業報告がなされ、その後財務部長小林氏より2023年度決算報告、監事の堀川氏より監査報告の説明がなされた。

議長は議場にこれを諮った処、西新潟中央病院山田氏より2点質問があり、会長佐藤氏、政治参加推進委員長五十嵐氏、副会長中山氏が回答した。

質問1 社会職能局渉外部と政治参加推進委員会は活動内容がほぼ同じであるが、両者の違いは何か。また、政治参加推進委員会の予算はどのようなになっているか。

質問2 渉外部の政治活動に係る「交際費」の中身を具体的に提示して欲しい。

回答1 政治参加推進委員会は渉外部の一部として政治連盟の支援等を行い、政策に我々の意見を反映するように活動している。

政治参加推進委員会の予算は渉外部の予算に含まれている。

回答2 渉外部の「交際費」の執行に当たっては、その都度理事会で審議をして執行している。中身の具体的提示について一意見として受け止める。

質疑応答の後、議場に諮り満場一致の賛成をもって議決された。

第2号議案 その他

審議事項提案なし

報告事項

2024年度事業総括計画・予算について会長佐藤氏、副会長中山氏より本件に関わる説明がなされ、財務部長小林氏より予算について説明がなされた。

議長は議場にこれを諮った処、西新潟中央病院山田氏より2点質問があり、会長佐藤氏、災害対策委員長小野塚氏が回答した。

質問1 今年元旦に発生した能登半島地震の際には、理学療法士は多職種と協力し被災地支援をおこなった。災害発生時の理学療法士会の活動について今後の課題と展望はどのように考えているか。

質問2 士会の会員数が増加している一方で総会での質問数が少ない。会員が県士会活動に関心

が薄れてきているのではないかと懸念する。そのことについて県士会としてどのように考えているか。

回答1 県士会として今回の地震発生直後に会員の安否確認と被災状況把握を速やかに行った。被災地支援ではOT士会、ST士会と情報共有し、リハビリ専門職協議会として歩調を合わせ取り組むことができた。今後もこの枠組みで活動を進める。

災害時対応について会員向け研修を引き続き行う。JRAと新潟県が協定を結ぶ方向にあるとの情報である。

回答2 県士会の活動は近年多岐にわたり、活発になってきていると考えている。その県士会の活動をホームページや広報を通じ会員に分かりやすく伝えることで、会員に県士会に関心を持ってもらうよう努める。

以上をもって2024年度定時総会の議案全部の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し13時20分散会した。

上記の決議を明確にするため、議事録署名人において次に記名押印する。

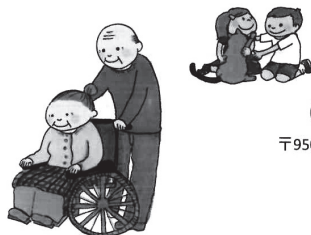
2024年6月9日

公益社団法人 新潟県理学療法士会
2024年度定時総会において

議長	金子 巧
議事録署名人	浜辺 政晴 早津 敏彦

義肢・装具・車いす・インソール

ご相談、ご用命は弊社にお任せください。



(株)田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21-11

TEL: (025) 281-0303

FAX: (025) 281-0339

田村義肢 検索

事務局ニュース

1 会員の動き「2025年4月～2025年7月集計」

- 【新入会】 ・ 58件
- 【県内異動】 ・ 81件
- 【転入】 ・ 25件
- 【転出】 ・ 11件
- 【休会】 ・ 52件
- 【復会】 ・ 27件
- 【退会】 ・ 16件
- 【育児休業割引】 ・ 2件
- 【シニア割引】 ・ 0件
- 【施設名称変更】 ・ 1件
- 【施設住所変更】 ・ 0件

2 他士会関係

① ニュース（他県士会）

北海道 No. 243
長野県 No. 90
神奈川県 No. 304
熊本県 第148号
静岡県 No. 210
茨城県 No. 188
広島県 No. 281
大阪府 第309号 第310号

② 学術誌・学会誌

四国理学療法士学会誌 第46号
理学療法湖都 第44号（公益社団法人滋賀県理学療法士会）
第28回静岡県理学療法学会 学術大会誌
高知県理学療法 第32巻

③ その他

QOLサポーター新潟 No. 63（新潟医療福祉大学）
tete No. 4（新潟医療福祉大学）
福祉用具の事故防止に向けた体制強化に関する調査
研究事業報告書（一般社団法人日本福祉用具供給協
会）
REGAC vol. 16（公益社団法人広島県理学療法士

会）

麻痺治療の未来を拓く促通反復療法（促通反復療法
研究所）

総会資料・機関誌合併号 栄養新潟 '25vol. 57（公
益社団法人新潟県栄養士会）

新潟社会福祉士 実践報告 第23号

響希 Vol. 22（一般社団法人新潟県介護支援専門
員協会）

JPTANEWS Vol. 354、Vol. 355（公益社団法人日
本理学療法士協会）

3 異動・休会・復会・退会の手続きについて

異動（休退会含む）が生じ次第、速やかに協会マ
イページより、変更手続きをお願いいたします。

休退会、転出については、年会費の未納がある場
合はお手続きが出来ません。納入確認後にお手続き
をお願いします。

「育児休業割引」「シニア割引」「海外会員割引」
もごさいます。休退会手続きの前に、協会または県
士会ホームページをご確認ください。

※マイページID、パスワード紛失の場合は日本
理学療法士会 [TEL：03-6804-1421](tel:03-6804-1421) へお問い合わせく
ださい。

<自宅会員へのお願い>

現在、施設に所属して自宅会員で申請してい
る方へお願いです。

所属施設でまとめて郵送物を受け取れますよう自
宅から施設への変更手続きを協会マイページよりお
願いいたします。

[お問い合わせ]

〒950-0912 新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号

公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局 宛

TEL：025-250-7660 FAX：025-250-7661

（電話対応は月曜～金曜の9：00～15：50）

E-mail：jimukyoku@nipta.jp

【ご結婚された会員の皆様へお祝い贈呈のお知らせ】

県士会では会員のご結婚のお祝いを下記の要領で贈呈しています。

- お祝いとして3千円分のQUOカードをお贈りします。
- ご結婚された会員は専用Googleフォームから申請してください。
- 会員同士のご結婚の場合にはそれぞれに申請ができます。
- 2024年4月1日以降に婚姻届けを出された方が対象です。
- お祝いの贈呈は会員期間通算して1回です。

申請は下記QRコードを読み取り、専用Googleフォームに入力し送信してください。
会員の福利厚生のための制度です。是非ご利用ください。

申請専用GoogleフォームへのQRコード



問い合わせ先：新潟県理学療法士会厚生部

E-mail：jimukyoku@nipta.jp

Hi! 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所
〒950-0086 新潟市中央区花園 2-2-19
TEL: 025-240-0003 FAX: 025-241-6655
URL: <http://www.hi-college.ac.jp>

全てはお客様の笑顔のために



まごころ印刷の

株式会社タカヨシ

■本社・工場

〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL (025) 381-2000代

帳票

発送代行

ラベル・シール

WEB・デジタル

医療関係印刷物はタカヨシで <https://www.takayoshi.co.jp>

編集後記

この度、新潟県士会は新体制のもと、新たな一歩を踏み出しました。これもひとえに、会員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。新しい体制が県士会に明るい未来をもたらすため、会員一人ひとりの声に耳を傾け、より良い士会を築き上げていけたらと思っています。皆様と共に歩む未来が、希望に満ちたものとなるよう、精一杯努めてまいります。(新T)

ゆきわり草 No.212

編集責任者 金子 巧

問い合わせ先 新潟リハビリテーション大学
〒958-0053 村上市上の山 2-16
TEL (0254) 56-8292
FAX (0254) 56-8291
E-mail: kaneko@nur.ac.jp